

# 社協 たてやま

秋号

R2.9.20 発行 No.148

この広報紙は共同募金の  
助成金で発行しています。

九重支部 相賀お達者クラブ (詳しくは P8)

TEL.23-5068 FAX.22-8805  
e-mail. madoguchi@fukushi-tateyama.or.jp  
URL http://www.fukushi-tateyama.or.jp



## 令和元年度 共同募金 募金額 9,559,880円

令和元年度に館山支会に集められた募金は、千葉県共同募金会で配分され、令和2年度の「共同募金地域助成額」として館山市社会福祉協議会に助成されます。

ご協力ありがとうございました。

## 令和2年度 共同募金地域助成額 8,503,000円

<内訳>

|             |            |
|-------------|------------|
| 福祉相談事業      | 159,000円   |
| 社協支部事業      | 1,497,000円 |
| 地域福祉事業      | 2,043,000円 |
| 災害復旧支援事業    | 200,000円   |
| ボランティア活動事業  | 600,000円   |
| 民生委員業務受託事業  | 959,000円   |
| 老人クラブ業務受託事業 | 80,000円    |
| 福祉団体助成事業    | 2,240,000円 |
| 応急援護事業      | 50,000円    |
| 日常生活用具整備事業  | 475,000円   |
| 日常生活用具給付事業  | 200,000円   |
| 合 計         | 8,503,000円 |

本年度、千葉県共同募金会に129件、696,915,000円の広域助成申請がありました。

申請金額と昨年度の募金実績等から本年度の共同募金目標額を算出しました。

共同募金がどのように役立てられているか、ホームページでご覧いただけます。

・中央共同募金会  
<http://www.akaihane.or.jp>

・千葉県共同募金会  
<https://akaihane-chiba.jp/>

### 地域の福祉のために募金にご協力ください



千葉県共同募金会  
館山市支会長  
金丸 謙一

赤い羽根をシンボルとした共同募金運動が、10月1日から12月31日までの期間、地域福祉の向上をめざして全国一斉に行われます。

この運動は、第二次世界大戦後、人々の生活が苦しい時代にみんなで助け合っていこうと、昭和22年(1947年)に始まり、今回で74回目を迎えました。

集まった募金は、民間福祉団体やボランティアによる地域福祉活動を支援する財源として助成され、福祉事業の発展に役立てられています。

今年も、これまで同様、みなさまの温かいお気持ちにより支られてきた「赤い羽根共同募金運動」にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

## 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

共同募金は、社会福祉事業の推進に向けて全国一斉に行われる募金運動であり、「赤い羽根共同募金」と親しまれています。共同募金は、使い道や集める額(目標額)を定めることが義務付けられている募金です。

目標額の決め方は、県内の社会福祉施設や障害者団体、ボランティア団体等から活動に必要なお金を事前にとりまとめ、使途計画を立ててから行うもので、「計画募金」と呼ばれています。そのため、使途が明確であるという特徴があります。

館山市では計画された助成予定総額から一世帯当たりの目安である500円や、市全体での目標額が割り出されています。赤い羽根募金は千葉県共同募金会の計画に沿って、来年度前半と、緊急性の高いものは本年度後半に助成されます。

なお、12月に実施されます歳末たすけあい募金につきましては、年内に市内社会福祉施設入所者や、生活困窮世帯等にお届けする予定となっております。

### 【令和2年度 館山市の目標額】

赤い羽根共同募金 9,360,000円

(1世帯当たりの目安500円)

歳末たすけあい募金 5,430,000円

(1世帯当たりの目安300円)

### 【令和2年度 千葉県の目標額】

千葉県の目標額 630,000,000円

<内 訳>

赤い羽根共同募金 390,000,000円

歳末たすけあい募金 240,000,000円



### ～募金方法は～

#### ○ご家庭で○

【戸別募金】 町内会(区)長さんにご協力をいただき、各家庭へ、戸別におにこいに伺います。

【大口募金】 民生委員さん、町内会(区)長さん、社会福祉協議会役員が商店・企業・個人の賛助者を訪問してご協力をお願いします。

#### ○職場で○

【職域団体募金】 一般企業・団体・官公庁などにお勤めの方に、ご協力をお願いします。

#### ○学校で○

【学校募金】 子どもたちの福祉の心を育む目的で各学校に、ご協力をお願いします。



# ご寄附のお礼

(受付順・敬称略)

温かいお気持ちをありがとうございました。  
みなさまからの寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。古切手やテレホンカードは、福祉施設等へ送り、バザーや海外旅行のおみやげとして販売し、福祉施設等の活動資金となります。

## 寄 附

(社会福祉振興基金)

R2.5.16~R2.8.5

鈴木 孝男 200,000円  
匿名 3 件 52,738円

## 善意銀行

R2.5.16~R2.8.5

### ▼古切手.....37 件

山下衛夫・外房捕鯨・館山駅前郵便局・加藤建設(株)・ばんぶーはうす・宮沢書店・JA安房北条支店・安房舗装土木(株)・館山信用金庫・早

川電工(株)・ジェイアールバス関

東(株)館山支店・NPO法人タナ

ぎ・館山教会附属保育園・日本車

椅子ダンスレクダンス協会館山支

部・大和印刷(有)・医療法人橘会

勝山クリニック・くあところデリバリー

センター・砂谷春一・中村玲架・山

崎陽子・市社会福祉課・市税務課・

小林肇・市教育総務課・(有)真門屋

西岬種苗・天野和枝・(株)月嶋製

作所・メガネのサンアイ・匿名 8 件

### ▼使用済みテレホンカード 5 件

吉川恵・砂谷春一・匿名 3 件

※善意の寄附は、古切手及び

使用済みテレホンカードのみ

お預かりしています。

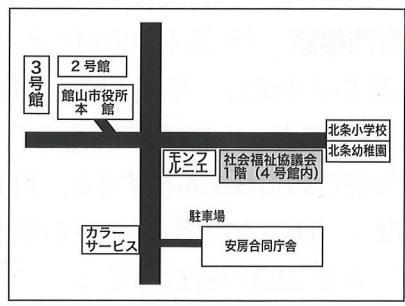
(受付順・敬称略)

### 【受付・お問合せ】

社会福祉協議会事務局

☎23-5068 FAX 22-8805

館山市北条402(市役所4号館内)



## 誰もが安心して暮らすために

社会福祉協議会では市内十五カ所に支部を設置。そこに福祉のまちづくりを推進することを任務とした支部長と地域福祉委員を置き、見守り活動や友愛訪問、食事サービ、福祉研究会など地域のたすけあい活動、福祉活動を行っていきます。

また、高齢者など誰もが気軽に通える「サロン活動」を積極的に進めるなど、将来の地域づくりに向けた取り組みも行っています。

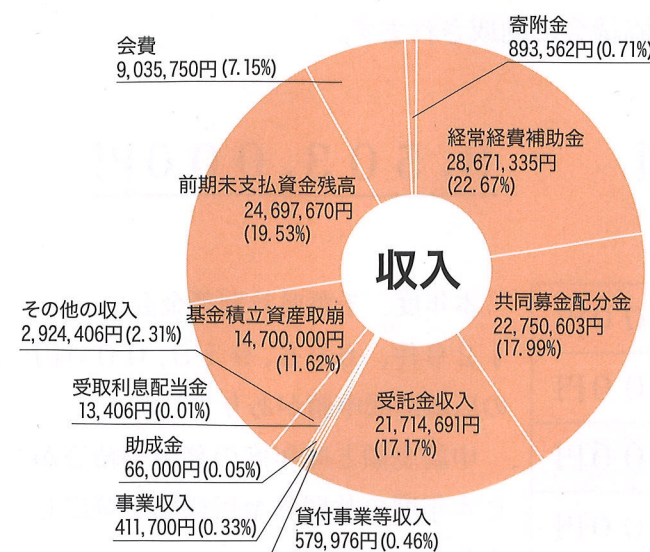
各地区の支部長および地域福祉委員は左記の方々ですの、社会福祉に関するご相談や質問はお気軽にどうぞ。

| 支 部 名   | 支 部 長   | 地域福祉委員  |
|---------|---------|---------|
| 館 山     | 長 井 勲之介 | 金 子 徳 江 |
| 三 町     | 山 内 豊   | 山 口 淳   |
| 三 軒 町   | 片 野 義 雄 | 大 西 和 子 |
| 六 軒 町   | 手 島 清   | 鈴 木 俊 子 |
| 長 須 賀   | 石 井 久 治 | 山 田 一 夫 |
| 八 幡     | 近 藤 昭   | 飯 塚 弘 之 |
| 上 高 湊   | 小 澤 利 行 | 井 上 一 三 |
| 那 古     | 佐 藤 宏 武 | 佐 藤 宏 武 |
| 船 形     | 竹 山 多津江 | 竹 山 多津江 |
| 西 岬     | 小 澤 康 一 | 鈴 木 信 雄 |
| 神 戸     | 出 口 勝 美 | 田 邊 卓 司 |
| 富 崎     | 小 谷 信 雄 | 小 谷 登志江 |
| 豊 房 神 余 | 石 井 長 太 | 鈴 木 巖   |
| 館 野     | 鎌 田 洋 司 | 高 木 修 一 |
| 九 重     | 押 元 修 一 | 石 井 秀 利 |

令和元年度

# 決算報告

収入 126,459,099円



繰越金合計.....23,893,971 円

法人運営事業繰越金.....10,804,694 円

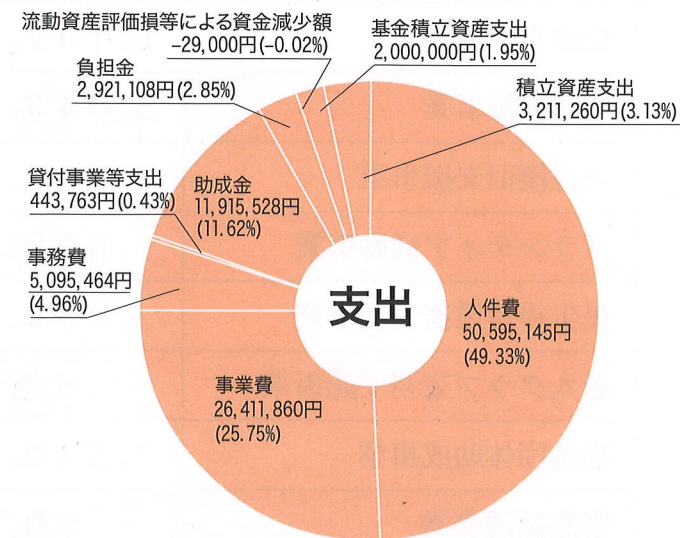
共同募金配分金事業繰越金..... 5,000 円

貸付事業繰越金 ..... 1,551,042 円

社会福祉振興基金事業繰越金 ..... 4,576,063 円

受託事業繰越金 ..... 6,957,172 円

支出 102,565,128円



## 令和元年度 事業報告

### 地域での福祉活動

市内15支部での食事サービス・友愛訪問・地域ボランティア研修・ふれあいいきいきサロンへの支援などを実施。社協に登録している福祉ボランティアの活動支援や研修会などを実施。

### 在宅福祉機器の貸出・給付

車椅子の貸出(76件)、福祉カーの貸出(29件)、四点杖の貸出(1件)、歩行器の貸出(1件)、高齢者・障害者疑似体験セットの貸出(2件)歩行補助杖の給付(12件)シルバーカーの給付(1件)

### 福祉相談

心配ごと相談(51回実施、相談153件)

### 福祉資金貸付

低所得世帯などに対し資金を貸付。民生資金等の貸付(18件)高額療養費の貸付(1件)

### 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前の生活困窮者の相談・支援を実施。相談件数(42件)

### 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう相談・支援を実施。相談件数(46件)

### ふれあい活動募集事業

市内小・中学校対象に福祉教育推進に尽力した活動を募集・表彰。

### その他

福祉功労者の表彰  
広報「社協たてやま」発行(年3回、全戸配布)。  
共同募金運動への協力。  
館山市なのはなシニア連合会支援。



## 高齢者疑似体験セットを貸出

館山市社会福祉協議会では、福祉体験学習・研修を行う際に役立つ器材を、地域の学校や団体に貸し出しを行っています。また、職員の派遣も併せて受け付けています。

「高齢者」「片まひ」など身体機能の低下した状態を実際に体験すると、暮らしの中での不自由さ、不安な気持ちを理解でき、適切な介助の仕方や、障害者に優しい環境作りなどを考える上で役立ちます。



|         |                                                                 |
|---------|-----------------------------------------------------------------|
| ◆対象者    | 市内の学校での福祉授業や総合学習（小学校5年生以上が対象）各地区で実施する介護教室などの学習会・ボランティア団体や福祉団体など |
| ◆貸出期間   | 原則1週間以内                                                         |
| ◆費用     | 無料                                                              |
| ◆お問い合わせ | 館山市社会福祉協議会 TEL: 0470-23-5068                                    |

対象となる食品は、麺類、保存食品（缶詰、瓶詰など）、インスタント・レトルト食品、乾物（のり、豆など）、菓子類、飲料（ジュース、コーヒー、紅茶など）、調味料各種、食用油、ギフトパック（お歳暮、お中元など）。常温で保管

フードドライブとは、家庭で余っている食品や企業から不要な食品をフードバンクに寄付していただく事業で、生活困窮により食品を確保することが困難な人々にフードバンクを通じて提供するものです。

## Topics

### 館山市社会福祉協議会でフードドライブに協力

が可能で賞味期限が2ヶ月以上あるもの、未開封であるもの。  
今回の食品の受付は9月14日（月）から10月30日（金）、館山市社会福祉協議会窓口まで。  
問い合わせは館山市社会福祉協議会（0470-24-0294）へ。



# 社のひろば

## 相談

### ▼心配ごと相談

財産・家族・離婚問題など、心配ごとや悩みごとのある市民のみなさんのために、相談をお受けしています。

#### ・一般相談（相談担当職員が応対します）

毎週火曜日 午前10時～午後3時

電話での相談も受付します ☎ 24-0294

（予約不要 当日受付順に相談）

#### ・専門相談（弁護士が応対します）

第1・3火曜日 午後1時～午後3時

（予約必要 一般相談を受けていただいた方で専門の相談を希望する方、1日2件まで）

#### ・場所／市役所4号館（旧市民センター）

※相談日が祝日の場合は翌日になります

【問合せ】社会福祉協議会 ☎ 24-0294

## 案内

### ▼福祉カーの貸出

・対象者／市内にお住まいの心身障害者や高齢者とその家族、福祉活動をおこなうボランティアなどの福祉団体

・貸出期間／原則として1日

・費用／無料（燃料費はご負担下さい）

・申込／社会福祉協議会へお申込下さい



### ▼シルバーカーの給付

病気等の理由で身体機能に支障があり、在宅生活においてシルバーカーを給付することにより介護者の負担を軽減し、利用者の自立や日常生活の安定を図ることを目的としています。

・対象者／市内にお住まいの在宅の65歳以上の方で市県民税非課税世帯

・費用／無料

・申込／社会福祉協議会にお申込ください

【提出書類】給付申請書（社会福祉協議会に用意してあります）および、生計同一者の市県民税非課税証明書（市役所の市民課で交付しております）

※給付は原則として1人1回限りとします。

※すでに所有している方は対象外とします。

※介護サービスを受けている方は対象外とします。

### ▼車椅子の貸出

・対象者／市内にお住まいの在宅の方で、介護保険法または障害者総合支援法の対象とならない方（介護保険等による福祉用具の利用を優先してください）ただし、介護保険等の対象者であっても、福祉用具を日常生活において常用するのではなく、旅行または冠婚葬祭などの行事において、その間だけ一時利用する場合は貸出可能です。

・貸出期間／3ヶ月以内

使用目的等により貸出期間を個別に決定させていただきます。継続して必要な場合は、一度返却していただき、改めて使用目的等により申請を提出していただきます。

・費用／無料

・申込／社会福祉協議会にお申込ください

※貸出・給付に関する問合せ／☎ 23-5068





## ふれあい・いきいきサロン紹介 九重支部 相賀お達者クラブ

市内に約50ある「いきいきサロン」のうち、今回ご紹介するのは「相賀お達者クラブ」(代表 篠塚きみ子さん)。

相賀お達者クラブは、地元で無理のない範囲で参加できる憩いの場として、平成30年から活動を開始しています。

高齢者を主体として活動していますが、誰もが参加できる様に、毎月第2日曜日に開催しています。参加者のお孫さんと一緒に活動することもありますが、開催場所は「相賀お堂」。ちよつと小高いお堂まで階段を上って集合します。参加登録者は16名。70代の方から最高齢者の97歳の方まで。

サロン活動として、ラジオ体操、健康講座、健康体操、ゲーム、念仏、茶会など。夏季期間は、健康体操は中止し、脳トレを中心に活動されているとのこと。

今日も活動は、ラジオ体操から。「イチチ、ニー、サン、シッ」それぞれ自分の体調に合わせて軽く身体をほ



ぐします。その後みんなでお堂内に移動します。

今回は、参加者の中の医療関係OBの方を講師に健康講座を実施しました。

講座の後は、脳トレです。まちがい探しやひらがな拾いのプリントを使って行います。問題が4枚ありましたので、30分ほどシンキングタイム。

一枚目は、10力所のまちがい探し。レベルが高くて皆さん頭を抱えながら「5力所見つけたけど残りはどこ？」なんて話しながら

進めていきます。

課題の後は、お菓子を食へながらのお茶会。新型コロナウイルスについて、地区の六地藏祭の運営の話などがあがりました。戦中戦後の生活についての話題になると、地元の方、近隣からお嫁にきた方、都市部にいた方、それぞれの体験談もお話しされ、〇〇尋常小学校では朱色の袴を履かされていたとか、サツマイモ畑で米国の戦闘機から機銃掃射を受



けたが、ひょいっと避けてやったとか、武勇伝もたくさん。



コロナ禍において、サロン活動は大変ですが、「三密」を避けられるように工夫をし、マスク着用・手洗いの実施等十分に配慮して行っています。

ふれあい・いきいきサロンのお問い合わせは、社会福祉協議会まで。